

SIRE

サイア

3

CONTENTS

海外長期研修を終えて

2

ホルスタイン種の改良—最近の変更点

5

『生きて産ませりゃメスがでる!!』
本別町の雌雄分離精液 (GH-X) ユーザー訪問

7

“RELIABLE TOP BULLS”
～セカンドクロップ種雄牛を利用してみる～

8

平成20年春、
新規に公表された精鋭達の紹介!!

むかわ町穂別 清川牧場を訪ねて
第9回全国和牛能力共進会における取り組みについて

平成20年度 牛に係る家畜体内受精卵
移植に関する講習会開催要領

平成20年3月15日号

2008 March

Vol.369



海外長期研修を終えて

アメリカの酪農情勢

現在、北米では酪農家戸数約75,000戸、一戸当りの飼養頭数平均約120頭、一頭当り平均乳量約8,800kgとなっております。飼養頭数500頭以上規模の酪農家戸数は全体の約4%程度で、全頭数の約47%、出荷乳量の約52%に相当します。

また、北米では、数年後までに約2万戸の酪農家が離農する見込みですが、乳牛頭数は現状維持と予測されています。それは、1,500頭規模の大規模酪農家(搾乳頭数1,000頭以上)が約3,600戸となり、全頭数の約60%、出荷乳量の約67%となる予測です。今後、大規模酪農家の地域が現在の酪農主産地から南西部へと移行しており、ニューメキシコ州やテキサス州では、搾乳頭数3,000頭規模の酪農家が出現しています。大規模酪農家の増加、南西部への移行の背景には、乳価の高騰(1.5倍以上)、牛乳の輸出による不足、南西部地区の安価な地価、乾燥地帯であるため簡易な施設で飼養可能であるといったことがあげられます。今まさにアメリカ酪農はバブル状態です。

体審研修(アメリカホルスタイン登録協会)

現在、アメリカホルスタイン登録協会の体型審査は、審査員22名で年間約300,000頭を実施しています。

今回、お世話に成ったウイリス ガント氏は、年間17~18,000頭の審査を行っており、3日間で7戸、約500頭の審査に同行しました。審査は1頭当たり1分程度で、審査手順は酪農家より審査リストを受け取り、ハンディへ打ち込み、個体審査を行い、最後に受審牛の成績をプリントアウトし酪農家へ渡し、時間を十分かけてディスカッションしていました。

今年、日本でも審査標準改正で採用された乳用強健性(Dairy Strength)の見方について質問してみたところ「肋の開帳、肋の方向、肋間の広さ」が重要なポイントであると答えてくれました。



審査リストをハンディへの打ち込み



体審成績のプリントアウト



審査後のディスカッション

CRI研修

CRI研修報告は既に伊藤克美(SIRE Vol.1.3 51)、小林英聡(Vol.356・357)、児玉秀雄(Vol.363)からもされております。

今回は、酪農家の収益を支えるエリア プログラム コンサルタント『APC』とブリーディング プログラム スペシャリスト『BPS』の関わりについて報告いたします。

『APC』は、CRI社が最も力を入れている部門で、現在全米で24名(見習9名含む)で年々増員しております。主な業務内容は「営農指導」・「交配相談」であり、酪農家と一緒に現在の問題点を考え、今後の方向性を決めています。

『BPS』は、全米で235名とCRI社で最も人員配置が多く稼働地区も広域です。主な業務内容は「授精業務」「牛群の繁殖管理サポート」などです。『APC』の交配相談によって作成された「map」に沿って精液を選択し授精を行います。

今回、同行したのは Wisconsin 州東部の、ベ

テランAPC 1名と見習APC 1名のチームで、『BPS』は3チーム 11名で構成されておりました。彼らが担当している酪農家の規模は50頭から6,000頭と様々であり、対象酪農家が比較的規模の大きな地区のため月1回程度の訪問を行っておりました。1日の訪問戸数は2~4戸で、酪農家での滞在時間はおよそ1~2時間程度です。担当範囲がかなり広域なため移動時間のほうが多いようでした。

作業内容は、その地区の担当者が酪農家の乳検データ(DHI)を基に[Reproduction for profit]という資料を作成し酪農家・AI師と一緒に、現在の乳量・乳成分・受胎率・生産寿命・体細胞数・分娩間隔・分娩難易などのデータを基に収益性を第一に考え話し合っておりました。特に乳量・受胎率・生産寿命といった項目に酪農家の反応が大きいに感じられました。

話し合いにより変更点などがあった時は、随時新たな交配プログラム「map」を作成していました。



交配相談によって作成された「map」



APCとBPSのミーティング

Cow ID	Sire	Dam	Other Info
1201	4170444	4170444	
1202	4170444	4170444	
1203	4170444	4170444	
1204	4170444	4170444	
1205	4170444	4170444	
1206	4170444	4170444	
1207	4170444	4170444	
1208	4170444	4170444	
1209	4170444	4170444	
1210	4170444	4170444	
1211	4170444	4170444	
1212	4170444	4170444	
1213	4170444	4170444	
1214	4170444	4170444	
1215	4170444	4170444	
1216	4170444	4170444	
1217	4170444	4170444	
1218	4170444	4170444	
1219	4170444	4170444	
1220	4170444	4170444	
1221	4170444	4170444	

「map」交配種雄牛リスト



APCとBPSと酪農家とのミーティング



受胎率向上をテーマとしたAPCとBPS(チーム別)ミーティング

『APC』と『BPS』(チームリーダーのみ)は月に2～3回程度、担当地区での新たな変更点・問題点・改善点などのミーティングを行っています。その場で決定した事項は『BPS』のチームリーダーからチームのメンバーに報告され、今後の授精業務に生かされます。また、授精技術および受胎率向上、交配種雄牛の知識などをテーマに『APC』と『BPS』(チーム別に)のミーティングが月に1回程度行われているようです。

終わりに

CRIの研修を終え強く感じたことは、全職員が「酪農家の収益向上」を第一に考える姿勢がとても強く、また酪農家からの信頼がとても強いものでした。私達、ジェネティクス北海道全職員も皆様の酪農経営に少しでもお役に立てるよう日々努力していきたいと考えております。

皆さん気をつけてください!!

研修の終盤、雪も積り冬を感じさせるカナダモントリオール市街での出来事でした。

朝、ホテルのロビーで待ち合わせをしていたカ

ナダ人(数日間一緒に行動をしていた人)がとても焦った顔で「おまえの荷物は大丈夫か?」「警察に行かなければならない!!」などと話をしたため、内容を良く理解出来ず、「OK OK」と適当に答えて車に乗り込もうとするとなんと窓ガラスが割られているではないですか!!車上荒らしです!! 私は全く被害がなかったのですが、そのカナダ人のパソコンケースが盗まれたということでした。幸い、そのパソコンケースには乳牛雑誌などが入っているだけで被害は最小限でした。

しかし、窓ガラスがない車内は冬なので、「とても寒い!!」。なんとかビニールテープで仮修理しました。

気をつけても仕方ありませんが、車内に貴重品は置かないようにしましょう。

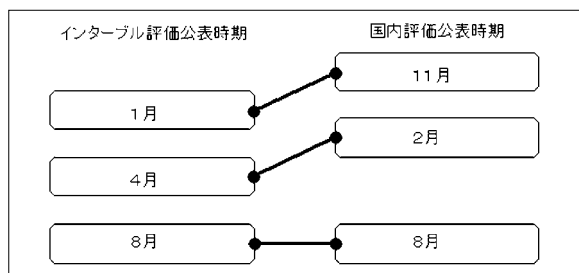
十勝北見事業所 人見 智亮

ホルスタイン種の改良－最近の変更点

遺伝評価回数と公表時期の変更について

わが国がインターブルに参加して以来、国内の種雄牛評価は年4回実施されてきました。これはインターブルの評価回数に国内評価回数を合わせるためでした。インターブルでは遺伝評価回数の見直しについて議論がなされ、年3回に遺伝評価回数を減らす事が決定され、昨年8月以降から新しい評価回数の運用が開始されています。

インターブルの種雄牛遺伝評価の新しい公表時期は、1月、4月、8月となっています。これに対して、国内種雄牛評価成績の公表時期は2月、8月、11月に変更されました。一般には、国内評価成績とインターブル評価成績は同時期に実施されるのが普通です。これまでは、2月、5月、8月および11月と国内評価成績とインターブル評価成績は同時に公表されてきました。2月の評価公表が従来から実施されており、4月からを事業年度とする国内事情にも合う事から、2月公表を動かしたくないとの考え方から採られた措置です。このため、4月のインターブル公表に向けて計算した国内評価結果を前倒した形で2月に国内公表する事で実施されることになりました。同様に、1月のインターブル公表に向けた国内評価結果も、11月に前倒して国内公表されることとなりました。



米国で採用された全品種の同時遺伝評価法について

米国では昨年乳用種の全品種の同時評価法を遺伝評価として採用しました。従来は、ホルスタイン種、ジャージー種、ブラウンスイス種など品種別に各々遺伝評価していたわけですが、これらを全て同時に遺伝評価することとなったわけです。この評価法の実施により、これら品種間の遺伝的

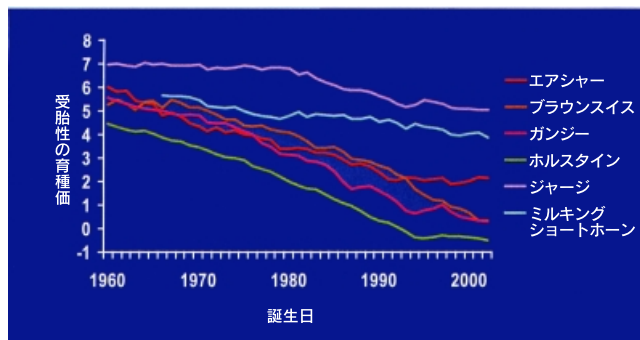
差異が明らかとなりました。

ホルスタイン種と比較した各品種の育種価の差異

品 種	乳 量	乳脂量	乳蛋白量	生産寿命	体細胞数	受胎性
エアシャー	-2,377	-62	-59	0.3	-0.14	2.5
ブラウンスイス	-1,932	-37	-33	0.8	-0.10	1.1
ガンジー	-2,777	-38	-63	-9.0	0.07	1.1
ジャージー	-2,995	-35	-49	2.4	0.19	5.6
ミルクキングショートホーン	-3,089	-108	-87	-0.9	-0.08	5.6

※乳量、成分量はポンドをキログラムに換算した(AIPL資料より)

表中の数値はホルスタイン種をゼロとした時の値であり、ホルスタイン種に対する遺伝的優劣を示しています。乳量や成分量についてマイナスの数値を示しており、ホルスタイン種が乳用種として優れた遺伝的の能力をもっている事がわかります。生産寿命(PL)がプラスの数値のものはホルスタイン種に比べ、生産寿命が長い事を示しています。受胎性については、いずれの品種もホルスタイン種より高い数値を示しており、ホルスタイン種の受胎性の問題の大きさが伺えます。グラフに示した受胎性の育種価のトレンドを見ると1990年代の中頃までホルスタインの受胎性の低下傾向が示され、以後は横ばい傾向に変化してきています。



国内においても、受胎性の低下は大きな問題と考えられています。もちろん遺伝以外の要因が大きく関係しているものと考えられますが、遺伝的トレンドも減少傾向を示しているわけですから、上昇に向けた改良をきちんと検討する必要があります。残念な事に、国内ではまだ受胎性の遺伝評価実施の目処が立っていない状況であり、受胎性に関連する他形質の間接選抜によるアプローチしかできない状況です。

『生きて産ませりゃメスがでる!!』

本別町の雌雄分離精液(GH-X)ユーザー訪問

ジェネティクス北海道の雌雄分離精液GH-Xが長い試行錯誤の期間を経て平成19年4月よりフィールドへ向けての販売が開始されました。実用化へ向け一歩ずつ積み上げてきた技術がようやく形になってまいりました。今まで試験期間中、多くの方々にご協力をいただきありがとうございました。

名称GH-X 分離精度90% 農家さんの間では『ジェネのメスダネ』と呼ばれている製品が今フィールドで活躍しています。今回、発売当初からご利用頂いている北海道本別町の生産者の方3軒がモニターとして取材に応じてくださったのでご紹介したいと思います。

ユーザーに聞きました…

【佐藤牧場】 美里別川を見下ろす高台で酪農業を営む佐藤俊行さん(32歳)に利用にあたってのお話を伺いました。

佐藤牧場は総飼養頭数約200頭を抱える中規模の酪農家です。搾乳牛は80頭程で、牛舎はタイストール、年間出荷乳量は950tで一頭当たりの平均乳量は9,100kgだそうです。現在増産に向け、飼養管理の改善や繁殖成績の向上を柱に創意工夫を重ね日々奮闘しております。

GH-Xを使ったきっかけは、特にメスの出生率が低くて困っていたというわけではなく、新しい技術を試してみたいという好奇心からだそうですが、なんと、今年度GH-Xを12頭に授精し11頭を受胎させました! 残念ながら1頭は流産でしたが、今のところ5頭が分娩しすべてメス!「ヒルトンの子は少し大きく生まれたものの難産もなく、5頭とも順調に育っていますよ。」と微笑んでいました。

哺育スペースを見せていただきましたが、急遽作ったベニヤ製のハッチにGH-X産仔が繋がっていました。「この時期例年に比べてメスが多く哺乳が忙しくなりましたよ。それとメスダネ授精牛の妊娠鑑定の時はいつもと違った期待感があり

ます。『とまってるよ!』と獣医さんに言われると生まれてくる季節が頭の中をよぎりますし、通常のタネのときは違った感じですね。」

GH-X一番目の産仔は元旦に生まれ、メスであることを確認したときは、科学の進歩に驚き、無事に生まれたことを大変喜んだそうです。

また、「町内では雌の出生率が少なくて困っている農家がいる。メスダネは利用価値が高いですよ。値段も妥当だと思います。ただ、なかなか手に入らないですね。今後もチャンスがあれば使ってみたい。」と暖かいご意見とご指摘を頂きました。



【佐藤さんとトップドリームGH-X産仔】

【内田牧場】 内田牧場は飼養頭数193頭、60頭牛舎を利用した入れ替え搾乳で約90頭を搾っていて、牛群平均が9,300kg、年間1,000tを出荷しています。繁殖管理はほとんどが英二さん(32歳)ということでお話を伺いました。

英二さんは短大卒業後、12年間実家で酪農業を営む中で、なぜか雄が生まれる率が高いという実感から毎年雌雄の比率に気をかけていました。調査すると必ず6割以上の雄が生まれ、多い年では7割の時もあったということです。自ら給与飼料や授精のタイミングなど何とか雌が多く生まれる方法はないかと工夫しましたが、納得いく答えは出ず、今回新しい技術を試してみようとGH-Xの利用に踏み切りました。今まで18本のGH-Xを授精していただいています。

昨春に授精した6頭は4頭が受胎し、無事全頭メスを産ませることができました。カーフハッチには10頭の仔牛達でしたが、その内の4頭がGH-X産仔でした。使うにあたっては、本当に雌が生まれるか不安があったようですが、生まれた時には、不思議な感じがしたそうです。受胎性についても特に普通の精液と比べて遜色はなく、分娩時の問題もなかったそうです。



[カーフハッチが足りなくて(内田牧場)]

現在は90頭ですが近い将来150頭規模の搾乳ができるよう施設を拡張する計画もあり、今までどおり外部導入を一切しないで増頭したいため、今後も雌雄分離精液を積極的に利用して後継牛の確保にあてたいとのことでした。

英二さんには雌雄分離精液について「『生きてませりゃメスがでる!!』というのほんとにすごいことですよ。」とGH-Xの将来について大

変心強いお言葉を頂きました。価格についても、「メスのぬれ仔の相場を考えると現状では十分妥当な価格で不満は全くない。F1生産はほとんど考えてないので5割程度は雌雄分離精液を利用していきたい。ただ、使いたい種雄牛のメスダネが販売されればいいのですが、今はメニューが少ないですよね。期待していますよ。」とGH-Xの一番の問題点を指摘して頂きました。期待に応えるよう努力していきたいです。

【井出牧場】 今回、お会いすることはできませんでしたが、昨春10頭にGH-Xをお使い頂いたのでご紹介します。結果は10頭中6頭が受胎し、現在までに3頭のメスが無事生まれたとのこと。今年に入っても10頭に授精し受胎確認を待っているところです。

今回紹介させていただいた牧場では、期待以上の受胎成績を出して頂きました。取材にご協力頂きほんとうにありがとうございました。また、JA本別町の荒木授精師にはお忙しい中同行して頂き、大変お世話になりました。

今年度は、今まで(2月末現在)4,000本(種雄牛6頭)を生産しております。フィールドにおける人工授精成績は、十勝・北見管内の受胎判明牛149頭を調査した結果、未經産牛の受胎率が58.4%(87/149)でした。

我々は20年度に向け、分離用の機械を一台増設し生産体制を整えました。今後、月産1,000本、年間12,000本を目標に高品質な雌雄分離精液を生産してまいります。皆様のリクエストに応えられるよう努力をしてまいりますのでご意見ご要望は何なりと各事業所のほうへお寄せ下さい。

今回は採卵に利用された生産者の方をご紹介したいと思います。

“RELIABLE TOP BULLS”

～ セカンドクロップ種雄牛を利用してみる ～

近年、セカンドクロップ種雄牛の利用頻度が世界的に増えています。

特に海外における種雄牛評価成績では能力や体型の他に長命性を含む管理形質に係る改良項目に重み付けがされるようになり、能力以外でアドバンテージを持つ種雄牛が成績の上位にランキングされるようになったのもこれらが理由の一つです。

2008-1月のアメリカTPIにおけるTOP5のうち4頭(シヤトル、オーマン、ラモス、ポリバー)がセカンドクロップ牛であり、中でもポリバーは米国や欧州のAIセンターが今もなお種雄牛造成用の計画交配種雄牛として利用しています。

このような光景は世代交代を早めた乳牛改良という面からみると1歩後戻りする感じでやや理解しづらい部分もありますが、信頼度の高い種雄牛でより確実に収益性を上げる乳牛改良のためとした場合、すべて否定する理由も見つかりません。

まして、その種雄牛がアウトクロスとして利用できればなおさらです。

2008年2月 種雄牛評価成績(NTP)においてもセカンドクロップ牛の活躍が目立つようになりました。表-1には、NTP上位50位において能力の信頼度が90%以上の牛をピックアップしております。

NTP全国第9位にランキングされているJP5H51940 ノマド(父:マンフレッド)を筆頭にJP3H51825 トレビノ(父:マーテイー)、JP3H51821 フロスト(父:マーテイー)、JP3H03479 ジェスロ(父:ジユラー)、JP3H51853 バレット(父:アメル)、JP5H51575 デイカプリオ(ストーム)、JP4H51368 ペイトリアーク(父:ノパロン)が活躍しております。

本団種雄牛トレビノはNTP全国第23位能力面で期待され、“エボニー”ファミリーが最も得意とする高能力、乳器、肢蹄改良です。フロストはNTP全国第40位にランクされ乳器、肢蹄の改良に優れ、さらに分娩難易が低いことが魅力です。



(左より) ゴールデン ミックス テルクホーム
大樹町/ 有限会社 金丸牧場 所有 母の父/ ルイツメドース ピースター ミックス ET
ゴールデン セルティ マテイト
大樹町/ 有限会社 金丸牧場 所有 母の父/ ジェンバス マスコット アントーン ET



(左より) リバーデル フロスト エラ
別海町中春別/ 富山 吉男氏 所有 母の父/ クレセントミード マーブリック ET
イーストヒル 17 ビーモン フロスト
別海町中春別/ 村本 伸治氏 所有 母の父/ ハノーバーヒル スターダム

JP3H51825 テスクホーム マーティ トレビノ ETの成績変異

	総合指数	順位	M	F	F%	SNF	SNF%	P	P%	Rk	決定確率	肢蹄	乳器	Rk		
H16.08	1,996	24	2,112	37	-0.41	162	-0.21	49	-0.18	28/25	75%	1.24	0.65	1.15	28/24	65%
H16.11	1,993	14	2,135	35	-0.44	166	-0.20	50	-0.18	34/31	76%	1.29	0.57	1.18	31/27	67%
H17.02	1,892	3	1,771	31	-0.35	139	-0.15	44	-0.12	37/33	80%	1.03	0.48	0.83	35/31	68%
H17.05	1,747	6	1,759	35	-0.31	140	-0.13	45	-0.11	38/34	81%	1.06	0.53	0.84	36/32	69%
H17.08	1,693	7	1,725	32	-0.33	136	-0.14	44	-0.11	38/34	82%	1.06	0.52	0.86	36/32	69%
H17.11	1,753	5	1,861	37	-0.34	146	-0.17	47	-0.12	38/34	82%	1.05	0.55	0.86	36/32	68%
H18.02	1,830	12	1,719	32	-0.34	135	-0.15	44	-0.11	39/35	83%	1.01	0.51	0.84	37/33	70%
H18.05	1,821	15	1,753	34	-0.33	138	-0.15	44	-0.12	39/35	84%	1.00	0.52	0.84	37/33	70%
H18.08	1,640	16	1,747	35	-0.32	138	-0.15	44	-0.12	40/36	84%	1.00	0.52	0.83	37/33	70%
H18.11	1,593	19	1,707	34	-0.32	134	-0.16	43	-0.12	40/36	84%	0.99	0.49	0.81	37/33	70%
H19.02	1,803	20	1,744	34	-0.32	137	-0.16	44	-0.12	39/35	84%	1.02	0.50	0.86	37/33	70%
H19.05	1,491	29	1,641	31	-0.32	127	-0.17	40	-0.13	40/36	85%	0.99	0.54	0.86	37/33	70%
H19.08	1,470	38	1,630	31	-0.31	127	-0.17	39	-0.13	39/35	85%	0.97	0.43	0.88	38/34	71%
H19.11	1,461	38	1,615	31	-0.30	124	-0.18	38	-0.14	44/40	86%	0.98	0.46	0.87	41/36	72%
H20.02	1,697	23	1,977	45	-0.29	151	-0.21	46	-0.17	112/95	92%	1.01	0.55	0.75	75/56	81%

JP3H51821 リーレーク マティ フロスト ETの成績変異

	総合指数	順位	M	F	F%	SNF	SNF%	P	P%	Rk	決定確率	肢蹄	乳器	Rk		
H16.08	1,923	28	1,375	35	-0.17	115	-0.05	36	-0.08	47/38	82%	1.30	0.83	1.77	44/34	71%
H16.11	1,959	17	1,309	40	-0.10	112	-0.03	36	-0.06	64/50	85%	1.24	0.81	1.72	36/33	68%
H17.02	1,276	26	773	23	-0.06	66	-0.02	20	-0.05	70/55	87%	0.99	0.74	1.39	63/50	77%
H17.05	1,291	18	914	28	-0.07	77	-0.03	24	-0.05	73/57	88%	0.93	0.76	1.29	66/52	78%
H17.08	1,508	18	1,001	30	-0.08	86	-0.02	28	-0.05	73/57	89%	0.93	0.77	1.28	66/52	78%
H17.11	1,600	9	1,230	39	-0.06	105	-0.02	34	-0.05	73/57	89%	0.92	0.77	1.27	66/52	78%
H18.02	1,703	8	1,271	40	-0.09	108	-0.03	35	-0.06	72/56	89%	0.91	0.76	1.26	66/52	78%
H18.05	1,745	8	1,361	42	-0.10	115	-0.04	37	-0.07	72/56	90%	0.91	0.76	1.26	66/52	78%
H18.08	1,745	8	1,376	41	-0.11	116	-0.04	37	-0.07	72/56	90%	0.91	0.75	1.26	66/52	78%
H18.11	1,790	7	1,436	42	-0.13	121	-0.05	39	-0.07	72/56	90%	0.90	0.74	1.25	66/52	78%
H19.02	1,750	7	1,430	41	-0.13	122	-0.04	39	-0.07	73/57	91%	0.90	0.75	1.25	66/52	78%
H19.05	1,754	8	1,420	41	-0.13	120	-0.04	39	-0.07	73/57	91%	0.89	0.74	1.24	66/52	78%
H19.08	1,734	13	1,419	42	-0.12	120	-0.04	38	-0.07	73/57	91%	0.90	0.71	1.26	66/52	78%
H19.11	1,690	15	1,368	40	-0.12	116	-0.04	37	-0.07	81/65	91%	0.83	0.60	1.17	72/57	79%
H20.02	1,502	40	1,343	35	-0.16	111	-0.07	34	-0.10	206/166	95%	0.88	0.57	0.96	136/87	88%

表-1

順位	略号	名号	総合 指数	乳代効果 (円)	泌乳形質 (EBV)						体型形質 (EBV)					在群期間								
					信頼度 (%)	乳量 (kg)	乳脂肪 (%)	無脂固形分 (%)	乳蛋白質 (%)	信頼度 (%)	決定 得点	体高と 骨格	肢蹄	乳用 強健性	乳器	体細胞 スコア	気質	搾乳 性	分娩 難易	信頼度 (%)				
9	JP5H51940	アルタジエン マンフレッド ノマド ET	+1,814	+103,543	93	+1,444	+28	-0.28	+135	+0.09	+47	+0.01	81	+1.18	+0.34	+0.68	+0.23	+1.37	3.03	100	101	101	102	61
23	JP3H51825	テスクホム マーティ トレノ ET	+1,697	+131,665	92	+1,977	+45	-0.29	+151	-0.21	+46	-0.17	81	+1.01	+0.03	+0.55	+1.25	+0.75	2.85	100	100	100	100	57
40	JP3H51821	ノリレーク マーティ フロスト ET	+1,502	+94,387	95	+1,343	+35	-0.16	+111	-0.07	+34	-0.10	88	+0.68	+0.02	+0.57	-0.22	+0.96	3.38	100	101	103	101	64
42	JP3H03479	ロイレオン ジェスロ ET	+1,481	+76,556	99	+1,098	+31	-0.11	+87	-0.10	+26	-0.10	99	+1.88	+1.52	+0.75	+1.47	+1.92	2.61	101	100	101	101	98
47	JP3H51853	サンデイバレー バレット ET	+1,416	+85,170	97	+1,130	+29	-0.15	+108	+0.11	+39	+0.03	91	+1.19	+1.28	-0.05	+1.37	+0.78	2.18	100	100	100	100	61
48	JP5H51575	ゴールドラッシュ テイカブリオ	+1,413	+78,274	99	+1,007	+57	+0.21	+71	-0.18	+25	-0.08	94	+0.93	+0.18	+1.04	+0.80	+1.02	2.34	99	100	101	102	60
49	JP4H51368	ハツビークロス ベイトリアーク ET	+1,398	+99,986	99	+1,507	+40	-0.17	+109	-0.24	+41	-0.07	99	+0.37	-0.13	+0.07	+1.10	+0.33	2.96	100	100	99	99	91

ジェスロは現在NTP全国第42位でセカンドク
ロップ成績公表から連続9回決定得点と乳器が
No.1であることから確実に牛群に取り入れて頂き
たい牛であります。

NTP全国第47位にランクされているバレットは
ジェスロ同様に体型改良に優れたセカンドク
ロップ種雄牛であり、特に、乳房の中央懸垂靱帯の強

さが魅力的で、乳用強健性にも優れていることか
ら今もなお人気の高い種雄牛です。

本団ではこれら信頼度の高いセカンドク
ロップ種雄牛にさらに付加価値をつけた雌雄分離精液
(GH-X)もお届けしております。利用に限りのある
種雄牛もありますのでご興味のあるかたはお近く
の取り扱い窓口までお問い合わせください。



(左より)ホクレン エルム バレット ジョシー 訓子府町/ホクレン畜産技術研究所 所有 母の父/レディスマナー ウィンチエスター ET
ホクレン ELT バレット メイシー 訓子府町/ホクレン畜産技術研究所 所有 母の父/クレスボールド ルーク ハーシエル ET
フォレスト バレット プライアン 別海町中西別/羽石 勝幸氏 所有
ホクレン ジャツキー バレット ジーン 訓子府町/ホクレン畜産技術研究所 所有 母の父/ライスクレスト マーシャル ET
ビーブレーク マリア バレット 別海町/前嶋 正仁氏 所有 母の父/シヨアマー メインツ ET

JP3H51853 サンデイバレー バレット ETの成績変異

	総合指数	順位	M	F	F%	SNF	SNF%	P	P%	R%	決定得点	肢蹄	乳器	R%		
H16. 08	2,098	11	1,714	37	-0.28	151	0.02	54	-0.01	32/27	78%	1.53	0.01	1.25	26/24	65%
H16. 11	2,005	12	1,690	35	-0.28	151	0.03	53	-0.01	37/32	80%	1.27	-0.19	1.08	33/31	68%
H17. 02	1,501	12	1,284	28	-0.21	117	0.05	40	-0.01	44/38	82%	1.01	-0.29	0.77	38/36	70%
H17. 05	1,577	12	1,296	29	-0.20	121	0.08	42	0.01	46/40	84%	0.99	-0.29	0.79	42/39	72%
H17. 08	1,535	16	1,273	30	-0.19	119	0.09	41	0.01	49/43	85%	1.01	-0.28	0.74	43/40	72%
H17. 11	1,656	12	1,443	36	-0.19	134	0.09	46	0.01	49/43	86%	1.03	-0.25	0.73	43/40	72%
H18. 02	1,609	16	1,375	34	-0.19	130	0.11	45	0.02	49/43	86%	1.00	-0.23	0.70	43/40	73%
H18. 05	1,551	21	1,383	33	-0.20	130	0.10	44	0.01	49/43	86%	1.01	-0.26	0.70	37/33	70%
H18. 08	1,552	22	1,355	32	-0.20	127	0.10	44	0.01	49/43	87%	1.00	-0.26	0.68	43/40	73%
H18. 11	1,539	25	1,366	32	-0.21	128	0.10	44	0.00	49/43	87%	0.98	-0.26	0.67	43/40	73%
H19. 02	1,547	23	1,396	34	-0.20	132	0.11	45	0.01	49/43	87%	1.00	-0.24	0.68	43/40	73%
H19. 05	1,597	21	1,409	35	-0.19	133	0.10	46	0.01	49/43	88%	1.02	-0.25	0.70	43/40	73%
H19. 08	1,625	22	1,432	36	-0.19	136	0.11	47	0.01	50/44	88%	1.00	-0.28	0.70	43/40	73%
H19. 11	1,533	31	1,316	31	-0.20	125	0.11	43	0.01	724/62	90%	1.06	-0.19	0.75	61/57	78%
H20. 02	1,416	47	1,130	29	-0.15	108	0.11	39	0.03	332/270	97%	1.19	-0.05	0.78	196/126	91%

平成20年春、 新規に公表された精鋭達の紹介!!

2008年2月公表の種雄牛評価成績において、全国で13頭の新規種雄牛が公表されました。その内5頭が(社)ジェネティクス北海道の高能力・好体型種雄牛です。これらの精鋭達を紹介いたします。

JP3H52886 GNT インディ アロー

『血統』 ジェスロ × アーロン × マスコット × ブラツクスター

NTP全国第6位にランキングされた『アロー』は、北海道枝幸町歌登 小椋義則牧場で生産されました。母牛は雌牛評価成績で上位にランキングされ活躍している“スイートネス”ファミリーの「アローネス」(♂アーロン)です。未経産時に本団の計画交配により、ジェスロを交配して生まれた、待望の純国産種雄牛です。

初産分娩後の母「アローネス」は、鋭角的で乳用強健性に富み、乳房の付着・形状に優れ、特に後乳房底面の高さ、前乳房の付着が極めて良好です。

能力面において、乳量・乳蛋白質量の高さにお

いてもファミリーの遺伝能力の高さを示しております。

本牛の娘牛は、前胸部の幅・深さ・強さ・鋭角性に富み、各部への移行が滑らかで骨格が正確です。特に坐骨の位置が正確で優れております。また、乳用強健性に加え前・後乳房の付着形状に優れたジェスロ&アローネス譲りの特徴を持っております。

能力面では、乳蛋白質量が全国第2位・率全国第10位で特に乳蛋白質量・無脂固形分量が多く、率もプラスで体型&能力の改良効果が十分期待できる種雄牛と言えます。

交配には、ジユラー系以外の ダーハム・BWマーシヤル系をお薦めいたします。



HOLSTEIN
MAGAZINE

(左より)プロベール コスモ インディ
帯広市/(有)十勝ライブストック マネージメント 所有 母の父/オービー コスモ ET

ベターウエイ アロー ライアン
本別町/山田 裕実 氏 所有 母の父/デイクシーリー ルーテル ET

JP3H53010 スプリングヒルオー ティー ラウンドアップ

『血統』 トレント × アジソン × セルシラス × マスコット

NTP全国第20位にランキングされた『ラウンドアップ』の母系は、本団検定済種雄牛でS59年からH11年まで使用され高能力娘牛を数多く生産した H-330 ラングエーカーズ ベル ティー ジェーをはじめ、JP3H52178 サイクロン、JP5H52253 ライトニングなど多くの種雄牛を輩出した“グレンデル ヘザー”ファミリーで、特に高能力と好乳器の改良で知られております。祖母「CS カリ」はセルシラスの娘牛で雄大なフレームと乳用性を兼ね

備えており、「グレンデル ヘザー」まで5代連続エクセレントであります。母「アド カンタタ」の未経産時に本団が契約して生産された種雄牛です。父トレントはベルウードの息子であり、特に際立った乳成分率の改良に優れた種雄牛です。『ラウンドアップ』の娘牛は乳脂量全国第1位で率も+0.15と高く、後乳房の高さ・幅に優れております。

交配には、特に脂肪率を上げながら乳量を増加させたい方へ是非お勧めいたします。



(左より)

チエリーファーム リバーランド ラウンドアップ
鶴居村/清水 忠志氏 所有
母の父/レッドフェバー オアシス ET

シャーマン ラウンドアップ フタゴ
大樹町/(農)サカモトファーム 所有
母の父/イーストビュー ベルウード プリツ ET

シャーマン スプリングヒルオ フタゴ
大樹町/(農)サカモトファーム 所有
母の父/イーストビュー ベルウード プリツ ET

JP3H52982 オルスゼウスキー バド ET

『血統』 R マーシャル × ウインチエスター × エモリー × エルトン

NTP全国第24位にランキングされた『バド』の祖母「エモリー エルトン」は高能力・好体型として定評があったエモリーの娘牛で、母「エモリー スペシャル」は、鋭角的で乳用強健性に極めて富み、肢蹄・尻台の正確さ、高い泌乳能力を兼ね備えたウインチエスターを代表する娘牛です。世界各国のAIセンターも注目しており、日本へはR マーシャル、ガーター、ロレックス、モーティなどを父親とした受精卵が入っており、それらの娘牛は現在エリートカウとして活躍しております。

『バド』は、母系の高能力・好体型を受け継ぎ、R マーシャルの体型面の優秀さ、特に乳用強健性と乳器の付着・形状の良さ、後乳房底面の高さなどに改良効果が期待されます。

交配には、体型・能力のバランス良い改良を望まれる方へ。



レーモンドール ハイブン バド テン
訓子府町/浜田 光男氏 所有 母の父/ハノーバーヒル スターダム

JP3H52677

FL ロニー アデイ ET

『血統』 アジソン × ベルウッド ×
セルシラス × ブラツクスター

NTP全国第26位にランキングされた『アデイ』は、オランダの中でも特に体型改良に優れた牛群を持つサウスウインド牧場から生産された“ロニー”ファミリーで能力・体型のバランスのとれた子孫を数多く生産しています。

母「ロニー 47」は乳器・肢蹄に優れたベルウッドの娘牛で、本牛は本団エリート造成事業でアジソンの受精卵により生産された種雄牛です。

今回の新たに評価成績が公表された新規牛の中で54牛群61頭(能力)と最も検定娘牛数が多く、成績の信頼性も高く、乳量全国第1位、乳代効果・乳蛋白質量・無脂固形分量全国第2位、体細胞スコア全国第10位(2.33)の高能力種雄牛です。体積雄大で鋭角的で乳用強健性に富み、

♀ サウスランド ロニー 47
 — ♀ ヤマイルド アデイソン ロニー ET VG-85 (NTP1%順位) 阿寒町 山口 弘之氏所有
 3-06 2× 305日 M 13,126 kg
 — ♂ FL ロニー アデイ ET
 — ♀ セジモント アデイ ロニー ET GP-81 (能力全国1%順位) 別海町 瀬下 正人氏所有
 3-04 2× 305日 M 12,766 kg



マーテル アデイ サウスランド フタゴ
土幌町/古田 全利氏 所有 母の父/レイマウボンド オーク マーテル ET

後乳房の幅広く、難産出現頻度が『0』となっており、アジソンの遺伝的特徴から分娩難易度が低いことが予想されます。

乳量・成分量を増加させ、体細胞数を抑え、安産を望む皆様へお薦めいたします。

本団エリート造成事業で生産された『アデイ』のフルシスターも道内各地で活躍中です。

JP3H53111

ラルマ フォービツデン ファイナンス ET

『血統』 フォービツデン × エマーソン
× ジュラー × リードマン

2月に新たに検定済種雄牛となった『ファイナンス』は、国内で最初のフォービツデンの息子です。祖母「ジュラー フェイス」は、ジュラーの代表娘牛であり、体型では際立った乳用強健性、特に前

駆から中軀にかけての胸の深さ・幅が充実しており、乳器は前後乳房付着の強さに加え、後乳房の高さが特に優れており、能力面でも高い乳成分率を維持しながら2万キロ以上を泌乳する高能力牛です。母「ファイネス」は、エマーソンの娘牛で極めて乳用強健性に富んでおり、特に皮膚・皮毛の質が良く、乳器においても質良く幅があり、乳頭のサイズ・長さ・配置は極めて正確で、高い泌乳能力を兼ね備えております。

“ジュラー フェイス”ファミリーは現在世界的にも注目されている、エリート カウで諸外国へ多くの



(左より)アマリス フォービツデン ジャスティン
八雲町/水野 孝氏 所有 母の父/シエードイーレインシー サベージ ET
グリーンシャドー ファー
八雲町/影浦 義和氏 所有 母の父/メルウッド ソー アイコン ET

受精卵・契約の引き合いが多い人気のファミリーです。

『ファイナンス』は、決定得点全国第10位、乳器全国第5位と体型改良抜群で、鋭角的で乳用強健性に富み、乳器の付着・形状良く特に後乳房の幅に優れており、鮮明で力強い肢蹄が特徴の好体型種雄牛です。

交配には、BW マーシャル・ダーラム系などの体型改良重視の方へお薦めいたします。

むかわ町穂別 清川牧場を訪ねて

第9回 全国和牛能力共進会にむけての取り組みについて



YOGAWA

はじめに

むかわ町は平成18年3月27日、勇払郡鶴川町と穂別町の新設合併によって、北海道胆振支庁東部に新しく誕生した人口10,206人、面積712.91km²の町です。

キャッチフレーズは、「人と自然が輝く清流と健康のまち」で、一次産業では、穂別メロンを始め、米・野菜・花卉・乳牛・黒毛和種・軽種馬と多種多様であり、鶴川下流域ではシシャモが漁獲され、むかわ町は「シシャモの町」として知られております。

むかわ町穂別地区の穂別和牛生産改良組合は、58年4月1日に組合員数38名(組合長 藤岡孫一氏)で認定され、活動方針として(1)ET技術の導入利用(2)優良繁殖素牛の導入・保留(3)各共進会への参加を上げており、共進会を改良事業の一つとして捉え、大きな大会に多数参加してきました。

ここでは、第9回全国和牛能力共進会(鳥取全共)出品に向けた取り組みについてご紹介致します。

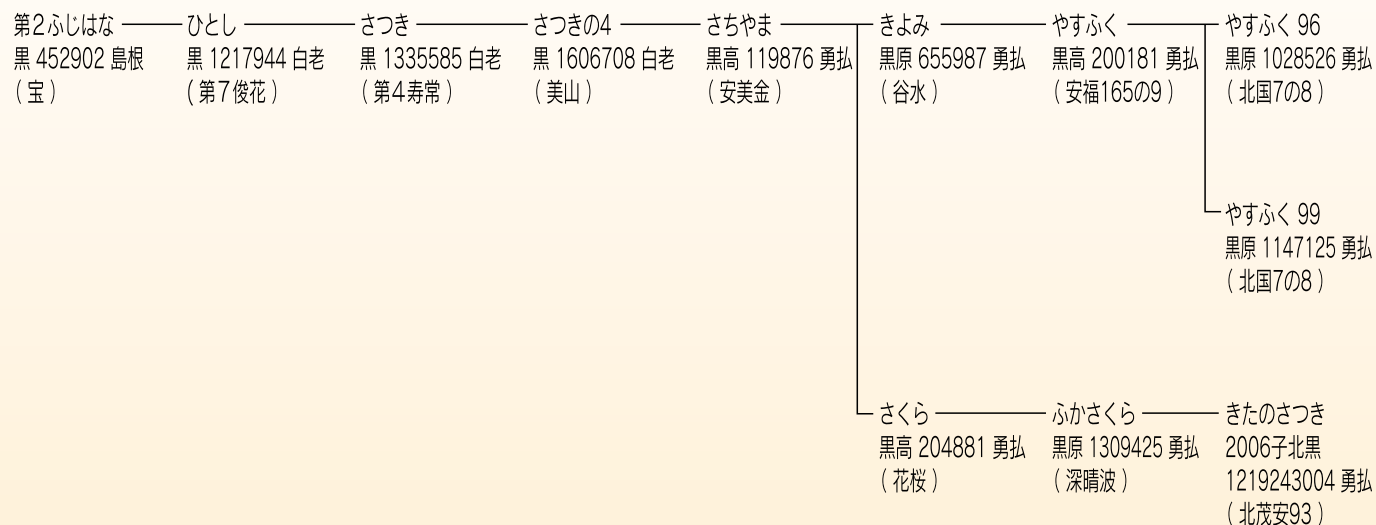
出品牛

この度の第9回鳥取全共に、当生産改良組合役員の清川 三十四氏が第2区(若雌の1)に出品致しました。清川氏は水稲・長いも・南瓜の水田畑作に加え和牛繁殖牛を23頭飼養する複合経営であり、和牛繁殖は昭和55年に3頭を導入したのが始まりです。

北海道農業開発公社が島根県より導入した「第2ふじはな」号の4代目「さつきの4」号をこの時白老町より導入しました。5代目に当たる「さちやま」号が今回および前回出品牛の祖祖母になっております。

前回第8回全国和牛能力共進会(岐阜全共)の第7区(高等登録群)に出品した高等登録牛3頭があり、北海道初の優等賞首席を獲得しております。

清川牧場全共出品牛系統譜



「やすふく」号 (父:安福165の9 母の父:谷水 北海道育種価 29位)

「やすふく96」号 (父:北国7の8 母の父:安福165の9 北海道育種価 4位)

「やすふく99」号 (父:北国7の8 母の父:安福165の9 北海道育種価 16位)

の3頭は今なお後継牛を残しながら現役で子牛生産に励み清川氏の経営を支えています。



第8回 岐阜全共 第7区(高等登録群)優等賞首席 (左より)「やすふく99」「やすふく96」「やすふく」

出品決定

この度の出品牛もまた同じ母系で、祖祖母「さちやま」号が基になっております。

出品牛の父:北茂安93(ジェネティクス北海道)
母の父:深晴波(ジェネティクス北海道)であり、母「ふかさくら」号は、第5回東日本和牛能力共進会に出品され第2区(若雌の1)で1等賞に輝きました。

平成19年6月29日にホクレン十勝家畜市場において北海道最終選抜会が開催され、穂別和牛生産改良組合から出品された清川氏の「きたのさつき」号が代表牛に、同じく当生産改良組合副組合長の佐々郁夫氏が出品した「いくと」号が補

欠牛に選抜され、見事清川氏の出品牛が全共行きの切符を手に入れました。



清川牧場「きたのさつき」

本番に向けて

全共出品の決定後は以前にも増して飼養管理に注意を払い、特に栄養度が高くなるよう管理に気を配りました。細かな配合飼料給与量の調整や立ち運動・追い運動を実施し、腹容や肋張りをいかに出すかを一番の難題としてとらえ、日々の管理・調教を重ねました。中でも肋張りを出すための牧草の細断給与の実施や、栄養度を見ながらの牧草と配合飼料の給与バランスにおいては大変苦労されたと思います。また、毎日多忙な農作業の中、決まった時間に運動や調教を実施するのは清川氏のみならずご家族にも大変ご苦労をかけたと思います。前回の全共から調教・管理のスタッフに当生産改良組合内の若手後継者を起用し調教・毛刈りなどの技術の継承を行っております。この後継者育成には清川氏も大いに期待しており、今後もこの経験を生かし、共進会や市場販売で力を発揮し活躍してくれる事を願っております。

この様な取り組みの後、いよいよ共進会の本番を迎え、「きたのさつき」号は会場入り当初は長旅の疲れや、慣れない場所で不安があったのか落

ち着かない一面もみせましたが、審査当日には落ち着きを取り戻し審査に望みました。

審査結果は1等賞4席となり、優等賞1席の宮崎県からの出品牛と比較すると肋張り・背腰が弱く感じられました。

最後に

清川氏は指導にあたってくれた佐藤顧問(ジェネティクス北海道)、栗生課長(北海道酪農畜産協会)から新しい技術や知識を与えてもらったので大変ではあったが、楽しみながら取り組む事ができました。

今後は、手伝ってくれた若手後継者達が自分の牛で出品できるように頑張ってもらいたい。

また、清川氏を中心としたベテラン勢と若手後継者が一丸となって次回の第10回長崎全共で上位入賞を目指すべく、生産改良組合としても取り組んで行きたいと考えております。

最後に出品にあたりご指導頂いた、関係各位の皆様には厚くお礼申し上げます。

JAとまこまい広域 居川 渉 氏(記)



筆者 居川 渉さん、清川さんご夫妻

平成20年度

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会開催要領

牛に係る家畜体内受精卵移植の資格を付与するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1) 開催者： 社団法人ジェネティクス北海道
 (2) 期 日： 平成20年9月1日(月)から
 同 9月17日(水)まで（日曜日を除く15日間）
 (3) 場 所： 財団法人清水町農業振興公社
 上川郡清水町字御影南2線77番地(Tel 0156-63-2011)
 (4) 受講資格： 牛に係る家畜人工授精師の免許を有し、新たに家畜体内受精卵移植の資格を得ようとする者(免許証の交付を受けている者に限る)。
 (5) 受講人員： 25名程度
 (希望者が多数の場合は、家畜人工授精師の経験年数、受講希望理由等を考慮して選考する)
 (6) 講習科目： 家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数。

2 修業試験(学科及び実習)

- (1) 日 時： 平成20年9月17日(水)及び18日(木)
 (2) 場 所： 1の(3)に同じ

3 受講手続

受講願書(別紙様式)、履歴書(市販様式に限る)及び家畜人工授精師免許証の写を社団法人ジェネティクス北海道理事長あてに提出する。

- ・ 履歴書に貼付する写真は、本人と確認できるものに限る。
- ・ 履歴書に受講希望の理由を具体的に記載すること。
- ・ 提出期限は平成20年8月2日(土)必着とする。

4 受講料 60,000円(宿泊費等は含まない)

5 受講許可 受講の許可又は不許可については、書面で本人に通知する。

6 その他

- (1) 宿泊は、各自が旅館等に申し込むこと。
 なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
 (2) 提出された書類は返却しない。
 (3) 受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

社団法人 ジェネティクス北海道・生産部
 〒060-0004
 札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル
 [Tel 011-242-9644、Fax 011-242-9651]

受講願書様式

受 講 願 書
 平成 年 月 日

社団法人ジェネティクス北海道
 理事長 矢野 征男 様

所 属
 本籍地(都道府県名)
 現住所
 氏 名 ④
 昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会を受講したいので、関係書類を添えて提出します。

[日本工業規格A4版]